

## ゲンビどこでも企画公募 2014

作品募集：2014年7月1日(火)～8月31日(日)  
 展示期間：2014年11月1日(土)～24日(月・休)

### 今年も自信作・意欲作を大募集！ 審査のポイントはスペースと作品のコラボレーション効果

「ゲンビどこでも企画公募」は広島市現代美術館の無料パブリックスペースをアーティストに開放して開催するオープン・プログラムです。本プログラムは、美術館の展示室ではないさまざまな空間の特徴を活かした、作品展示プランを広く国内外から募集します。空間と作品の魅力を互いに引き出し合っていることが重要な審査ポイントです。絵画、立体、インスタレーション、パフォーマンス等、作品メディアは問いません。本企画を通して、アーティストの意欲的な表現をサポートし、発表の場を提供します。

【特設サイト】募集要項・応募用紙ほか、館内スペースの特徴や過去の入賞作品の展示写真等を掲載。<http://www.hiroshima-moca.jp/dokodemo/>

### 地元企業・特別審査員とともに行うアーティストの育成、 そして美術館の新たな魅力の創出

アーティストの意欲的な表現をサポートし、発表の場を提供するとともに、美術館という場の新しい魅力を創出し、発信することを目的として行う本プログラム。さらに、地域で支える創作活動の場を地元との連携から作り出していけるようにとの趣旨に賛同いただいた地元企業3社（オタフクソース株式会社、オリエンタルホテル広島、広島アンデルセン）と、各方面で活躍する特別審査員との協力体制により、創造の場と交流の場を創出します。

### 幅広い分野で活躍する特別審査員

#### 倉本美津留／放送作家、ミュージシャン

放送作家として、「ダウタウン DX」、Eテレのこども番組「シャキーン!」、「アートバラエティ アーホ!」などを手がける。これまでの仕事に「ダウタウンのごっつええ感じ」、「M-1 グランプリ」、「伊東家の食卓」、「たけしの万物創世記」他。またミュージシャンとしても活動。近著にことば絵本『明日のカルタ』。

#### 八谷和彦／メディアアーティスト、東京藝術大学准教授

1966年4月18日（発明の日）生まれの発明系アーティスト。九州芸術工科大学（現九州大学芸術工学部）画像設計学科卒業、コンサルティング会社勤務。その後（株）PetWORKsを設立。現在にいたる。作品に《視聴覚交換マシン》や《ポストベット》などのコミュニケーションツールや、ジェットエンジン付きスケートボード《エアボード》やメーヴェの実機を作ってみるプロジェクト《オープンスカイ》などがあり、作品は機能をもった装置であることが多い。2010年10月より東京藝術大学 先端芸術表現科 准教授。

#### 福住廉／美術評論家

美術評論家。1975年生まれ。九州大学大学院比較社会文化学府博士後期課程単位取得退学。著書に『今日の限界芸術』、共著に『路上と観察をめぐる表現史』、『現代アートの本当の学び方』など多数。「artscape」、「共同通信」で毎月展覧を連載しながら、美術誌や新聞、展覧会図録、作品集などに寄稿している。また展覧会の企画として、「21世紀の限界芸術論」(gallery MAKI、2005～2011)、「里山の限界芸術」(まつだい「農舞台」、2012～)がある。現在、東京藝術大学大学院、女子美術大学、多摩美術大学非常勤講師。



- ・アーティストの育成
- ・美術館の新たな魅力を発見
- ・創造の場、交流の場をつくる



A 倉本美津留  
 B 八谷和彦  
 C 福住廉

## 作品プラン募集 7月1日(火)～8月31日(日) 必着

### 募集内容

- ① 作品のジャンルは問いません。(パブリックスペースの広さや構造において実現可能なもの)
- ② 広島市現代美術館のパブリックスペース(エントランスホール、ミュージアムスタジオ、回廊、ホワイエ、階段まわり等)を活用した展示プランを募集します。
- ③ 開催期間を通して展示できる作品であること。(パフォーマンスや演奏の場合は1日単位でも可)
- ④ 作品の制作、設置、展示、撤去、運搬、並びに広島市現代美術館までの交通費など、当企画に関わる費用などは、すべて出品者の負担となります。

### 応募方法

応募用紙(特設サイトからダウンロードもしくは美術館に請求(92円切手を貼った返信封筒を同封)、館内でも配布)に、必要事項を記入のうえ、現代美術館「ゲンビどこでも企画公募2014」係まで郵送してください。

### 応募に関する注意

- ・応募要項(特設サイトに記載)を必ず確認すること。条件に満たない場合は審査対象外。
- ・応募受付は郵または美術館への持参のみ。eメールでの応募は不可。
- ・会場下見可能。希望の場合は美術館まで問い合わせを。

## 審査選考・結果発表 10月1日(水) 特設サイトで入選者発表!

### 審査および入選者の発表

特別審査員と当館学芸スタッフによる審査を行い入選者(8名/組)および各賞を選出します。

- 入選:8名/組→金一封(5万円)とオリエンタルホテル広島・シングル1泊(10月31日、朝食付)、オタフクソース株式会社と広島アンデルセンより各企業の製品が授与されます。
- 特別審査員賞:3名/組
- オリエンタルホテル広島賞:1名/組(オリエンタルデザインギャラリーでの個展開催の機会提供)
- 観客賞:1名/組(来場者による投票。投票期間:11月1日～11月16日)

## 展覧会 11月1日(土)～24日(月・休) 入場無料

- ◎入選作家8名/組の作品とゲンビスペースのコラボレーションをぜひご覧ください!

### 授賞式

- 2014年11月1日(土)14:00～  
式は誰でも参加可能、新しい才能の発見と応援にぜひお越しください。

### スペシャルトーク

- ①倉本美津留【Let'sアーホ!～芸術が世界をかえる!】  
2014年11月1日(土)15:00～
- ②八谷和彦×担当学芸員【コンペと作家の関係】  
2014年11月23日(日)14:00～

### 地元協力企業の日

観客賞へ投票していただいた先着50名様に素敵なプレゼントがあります。

- 広島アンデルセンの日/11月8日(土)「石窯食パン」
  - オタフクソースの日/11月9日(日)「広島お好み焼こだわりセット」
- ※プレゼントの内容は変更になることがあります。

過去の「ゲンビどこでも企画公募」入選作品



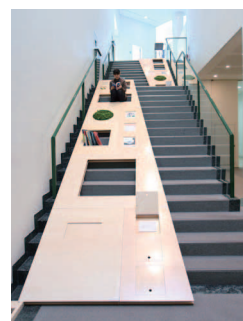
2013年/入選  
文谷有佳里《なにもない風景を眺める》



2012年/特別審査員賞(観客賞)  
横田健司《sky climb》



2011年/特別審査員賞(谷尻誠賞)  
中村潤《kamiwoamu kamiwomaku iriguchi》



2009年/地元企業賞  
谷田真+名城大学建築学科谷田研究室  
《どこでも・何にでも・ファニチャー》



2008年/入選  
松岡映里《Project. A》

広島市現代美術館

(学芸担当:山下、矢野 広報担当:後藤、鈴木)

〒732-0815 広島県広島市南区比治山公園1-1

TEL/ 082-264-1121(代表)・082-264-1146(学芸直通) FAX/ 082-264-1198

E-MAIL/ hcma@hcma.cf.city.hiroshima.jp WEB/ http://www.hiroshima-moca.jp